

授業科目名	ボランティア論 (VOD 授業)	大学名	国際医療福祉大学
科目区分	VU 連携講座	開講時期	後期 (9月22日～1月14日)
学部・学科等	医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	曜日	集中講義
必修・選択区分	選択	時限 (時間)	集中講義
標準対象年次	全学年	授業形態	VOD 講義 (一部対面講義)
単位数	2 単位	授業会場	VOD 講義 (対面講義時は、授業教室を随時知らせる)
担当教員名	中村 哲也		
電話番号 (代表者名)	0287-24-3209 (教務課)	e-mail アドレス	kym-renraku@iuhw.ac.jp
オフィスアワー	質問等は教務課で受け付ける。平日 8:50～17:00		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの理念、現代社会における意義について説明できる 2. ボランティアの歴史を体系的に理解し、説明できる 3. ボランティアコーディネートのあり方について理解し、説明できる 4. 自分なりのボランティア観を形成し、表現することができる 5. 他者のボランティア観を理解し、他者と協働して活動することができる 6. ボランティア、NPO団体の運営のあり方について理解し、説明できる 7. ボランティア関連の諸制度について理解し、説明できる 8. 様々なボランティアのあり方から、ボランティアの意義、課題を理解し、説明できる <p><前提とする知識・経験> 特になし</p> <p><授業の具体的な進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅等の PC から専用のホームページにアクセスして受講する。 ・各回、指定された期間に視聴後、確認問題を回答する。 ・対面講義を実施するので必ず出席する。(日程は別途連絡する。) <p><授業計画></p> <p>第1回 ボランティアの理念と原則①／ボランティアの理念と原則②</p> <p>第2回 ボランティアの理念と歴史①／ボランティアの理念と歴史②</p> <p>第3回 様々なボランティア活動①／様々なボランティア活動②</p> <p>第4回 ボランティアを支える制度・組織①／ボランティアを支える制度・組織②</p> <p>第5回 ボランティアを支える制度・組織③／ボランティアを支える制度・組織④</p> <p>第6回 ボランティア活動の促進方法①／ボランティア活動の促進方法②</p> <p>第7回 ボランティア活動の促進方法③／ボランティア活動の促進方法④</p> <p>第8回 ボランティア活動の実際① (医療現場におけるボランティア①) / ボランティア活動の実際② (医療現場におけるボランティア②)</p> <p>第9回 ボランティア活動の実際③ (海外支援のボランティア①) / ボランティア活動の実際④ (海外支援のボランティア②)</p> <p>第10回 ボランティア活動の実際⑤ (災害支援のボランティア) / ボランティア活動の実際⑥ (地域におけるボランティア活動①)</p> <p>第11回 ボランティア活動の実際⑦ (地域におけるボランティア活動②) / ボランティア活動の実際⑧ (地域におけるボランティア活動③)</p> <p>第12回 ボランティア活動の実際⑨ (ボランティアを支える組織①) / ボランティア活動の実際⑩ (ボランティアを支える組織②)</p> <p>第13回 ボランティア活動の実際⑪ (学生によるボランティア活動①) / ボランティア活動の実際⑫ (学生によるボランティア活動②)</p> <p>第14回 ボランティア活動の課題と展望① /ボランティア活動の課題と展望②</p> <p>第15回 ボランティア論総括</p>		

授業の概要

<教科書・参考書・教材と入手方法>

教科書・参考書は特に指定しない。

<成績評価法>

レポート 100%

※視聴・確認問題への回答を期限内に完了させ、対面授業へ出席すること。

授業科目名	〇〇〇〇〇〇	大学名	〇〇大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（〇月〇日～〇月〇日）
学部・学科等	担当教員の学部・学科等を記入	曜日	〇曜日
必修・選択区分	各大学で決定される	時限（時間）	〇～〇時限 （〇時〇分～〇時〇分）
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	〇〇〇〇
担当教員名	〇〇 〇〇		
電話番号（代表者名）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	e-mail アドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい></p> <p>地質時代に生きていた生物は古生物と呼ばれ，その研究を行う古生物学は生物学と地球科学との境界領域にまたがる自然科学の1分野である．一般に化石の研究によって過去の生物の歴史や進化についての証拠や化石を含む地層の年代決定，さら過去の気候や海洋環境の変化についての情報を得ることができる．講義では，古生物学の基礎をできるだけ平易に解説し，最先端の話題を織り交ぜながら，生命と地球の歴史についての理解を深めることを目的とする．</p> <p><前提とする知識・経験></p> <p>特に必要としません．講義内容は初～中級レベルで，高校で地学を学んでいない人でも問題ありません．</p> <p><授業内容と具体的な進め方></p> <p>この講義では，化石からどのような基本原理によって，またどのような方法によって様々な過去の環境変化や進化の情報を引き出すことができるのかについて，焦点を絞って単なる結果ではなくその読みとる過程を理解することを重視する．また，生命と地球の歴史を知る上で重要な事件を取り上げて生物と地球環境の関わりについての理解を深める．絶滅生物に関する個別の研究事例（恐竜やプランクトン化石など）の紹介を行う．基本的に板書を行い，図表などを用いて講義する．また，ビデオやスライド映写などにより古生物学の最近の話題を紹介することもある．実際に古生代から新生代の化石に触れてもらいながら，進めていく予定である．</p> <p><授業計画></p> <p>第1週 イントロダクション</p> <p>第2－3週 化石とその保存，化石化作用</p> <p>第4－5週 化石から地質年代を知る</p> <p>第6－7週 恐竜の生物学</p> <p>第8－9週 環境指示者としての化石</p> <p>第10－11週 化石から過去の気候を知る</p> <p>第12－13週 進化と化石記録</p> <p>第13－14週 海洋環境とプランクトン化石</p> <p>第15週 期末試験</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法></p> <p>講義では教科書・教材は使用しない．必要に応じ随時プリントを配布する．参考書が必要な学生のために，比較的分かりやすいものを後にテキストで配付する．</p> <p><成績評価法></p> <p>数回，授業内容やビデオを見ながら，内容を把握する小クイズを実施する．また2－3回宿題として，レポート課題を与える．評価は小クイズとレポートが40%，期末試験が60%で行い，総合的に評価する．10回以上出席しないと評価の対象としない(単位を取得できない)．</p> <p><教員からのメッセージ></p> <p>古生物や化石に関心を持つ学生諸君の受講を歓迎します．</p>		

